

始良市農地利用最適化推進委員候補者の応募状況（中間公表）

【一般募集】

No.	一般募集（応募者）								応募理由
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	認定 農業者	農業委員 への応募	
1	児玉 國男	男	81	無職	S41～H13大阪市交通局勤務 西田自治会会長（5年間）	農業経験は高校卒業まで手 伝いをしてしていた。 現在、耕作無し		無	休耕田に関心があり応募した。
2	宮部 芳照	男	81	講師	S41～H18鹿児島大学農学部にて 農業生産の教育研究に携わる。 H2～H8甘味資源審議会理事、H4 ～H18日本農作業学会評議員、 H5～H9農業生産管理学会評議 員、H6～H16NPOネイチャリング プロジェクト理事、H18～現在 鹿児島県農業共済組合連合会損 害評価委員、H20～H21始良町有 機農業推進委員会委員、H22～ H25かごしま有機農業支援セン ター講師、H22～H28始良市行政 改革推進委員会委員、H25～現 在 始良市シルバー人材セン ター友和会会長、H25～現在 始良市環境審議会委員、H28～ 現在 鹿児島県環境審議会委員	耕作面積：10a（始良市） 作目：野菜 農作業従事日数：60日 耕作面積：20a（指宿市） 作目：枇杷、その他 農作業従事日数：60日		有 （始良）	関係者の努力により、遊休農地の減少や担い手への農地集積（集積率17.5% H30）は徐々に進んでいる。その中 で日頃、有機農業関係で農地の実態を見る機会も多いが、特に中山間地域の耕作放棄地、鳥獣被害の増大を懸念し ている。また、近年のコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻などで肥料原料や燃油の高騰は農業現場を直撃してい る。このような状況下で、本市においても農業者の確保と育成を図り、農地の高度利用や地産地消の推進などによ り農業者の所得安定と持続可能な農業を残す必要がある。 また、小生の農業に対する思いや基本構想は、南日本新聞の「時論」にも掲載されています。（R元. 9/20スマ ート農業は万能か、R2. 5/25コロナ禍と食糧安保、R3. 5/3農業からCO2ゼロへ/バイオマスの利活用、R4. 4/25気候変動 に強い農業を、R4. 10/24食糧自給率向上への道筋）